

平成25年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年6月8日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社OSGコーポレーション

コード番号 6757 URL <http://www.osg-nandemonet.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 溝端 雅敏

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長

(氏名) 藤沢 和一

TEL 06-6357-0101

四半期報告書提出予定日 平成24年6月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年1月期第1四半期の連結業績(平成24年2月1日～平成24年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年1月期第1四半期	1,090	△17.4	△23	—	△24	—	△10	—
24年1月期第1四半期	1,280	3.6	86	△33.2	78	△34.6	7	△88.2

(注) 包括利益 25年1月期第1四半期 1百万円 (△888.4%) 24年1月期第1四半期 12百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年1月期第1四半期	△2.35	—
24年1月期第1四半期	1.41	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年1月期第1四半期	3,739	1,785	46.8	388.73
24年1月期	3,815	1,885	48.1	407.86

(参考) 自己資本 25年1月期第1四半期 1,749百万円 24年1月期 1,835百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年1月期	—	0.00	—	20.00	20.00
25年1月期	—	—	—	—	—
25年1月期(予想)	—	0.00	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成24年1月期の配当金の内訳は、普通配当15円00銭、上場10周年記念配当5円00銭となっております。

3. 平成25年1月期の連結業績予想(平成24年2月1日～平成25年1月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,100	5.8	420	△0.8	420	2.2	215	5.2	43.51
通期	5,700	7.2	540	21.8	540	27.2	280	28.7	56.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年1月期1Q	5,000,000 株	24年1月期	5,000,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

25年1月期1Q	500,215 株	24年1月期	500,215 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年1月期1Q	4,499,785 株	24年1月期1Q	4,999,896 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、現時点において、入手可能な情報及び将来の業績に与える不確定要因を前提としております。従って、実際の業績は内外の状況により異なる結果となる場合がありますのでご承知おきください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) セグメント情報等	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) 重要な後発事象	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災の影響による生産活動停滞も徐々に復旧しつつあるものの、原子力発電所事故に関連した電力供給制約の懸念やデフレの影響、雇用悪化懸念等により、依然として厳しさが継続している事に加え、欧州債務危機の影響等を背景とした海外景気の下振れリスクが継続しており、先行き不透明な状況で推移しております。

このような情勢のもと、原発問題による水の安心・安全の問題や、節電による熱中症対策など、ウォータービジネスにおける市場拡大のビジネスチャンスは今後も益々広がると判断し、当社は福島営業所を始めとする積極的な営業拠点展開を行い、更にウォータービジネスの新事業の積極的なM&A活動を展開してまいりました。

その結果、新たな営業拠点出店計画に伴い、将来の人材育成を兼ねて部署間及び事業間の大幅な人事異動を断行しました。しかしながら、拠点責任者などの管理職教育や人員補充、それに伴う人材育成が計画より遅れた事などが、業績に全般的に影響をもたらしました。

水関連機器事業につきましては、売上高は554,651千円（前年同期比19.1%減）となりました。

メンテナンス事業につきましては、売上高は334,492千円（同8.3%減）となりました。

HOD（水宅配）事業につきましては、売上高は177,335千円（同14.2%減）となりました。

以上のような状況で推移した結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は1,090,962千円（同14.8%減）、営業損失23,547千円（前年同期は営業利益86,393千円）、経常損失24,127千円（前年同期は経常利益78,851千円）、四半期純損失は負ののれん発生益10,383千円等が発生したことにより、10,582千円（前年同期は四半期純利益7,025千円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は2,132,240千円となり、前連結会計年度末に比べ52,893千円減少いたしました。これは主にその他の資産が24,784千円増加いたしました。現金及び預金が111,408千円減少したことによるものであります。固定資産は1,607,102千円となり、前連結会計年度末に比べ22,950千円減少いたしました。これは主に投資その他の資産が12,731千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、3,739,342千円となり、前連結会計年度末に比べ75,844千円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は1,251,614千円となり、前連結会計年度末に比べ94,379千円減少いたしました。これは主に短期借入金が126,000千円増加いたしました。一年以内償還予定の社債が200,000千円、支払手形及び買掛金が42,603千円減少したことによるものであります。固定負債は701,835千円となり、前連結会計年度末に比べ117,896千円増加いたしました。これは主に社債が20,000千円減少いたしました。長期借入金が142,079千円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、1,953,450千円となり、前連結会計年度末に比べ23,517千円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は1,785,892千円となり、前連結会計年度末に比べ99,361千円減少いたしました。これは主に利益剰余金が100,578千円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は46.8%（前連結会計年度末は48.1%）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成24年3月9日の決算短信で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	632,881	521,472
受取手形及び売掛金	892,992	902,548
商品及び製品	326,057	334,572
原材料及び貯蔵品	256,075	259,478
繰延税金資産	44,470	56,817
その他	39,357	64,142
貸倒引当金	△6,700	△6,791
流動資産合計	2,185,134	2,132,240
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,165,711	1,169,502
減価償却累計額	△818,065	△825,966
建物及び構築物（純額）	347,646	343,536
機械装置及び運搬具	222,780	222,780
減価償却累計額	△178,870	△181,023
機械装置及び運搬具（純額）	43,909	41,756
土地	723,955	723,955
建設仮勘定	2,595	3,752
その他	498,246	506,644
減価償却累計額	△415,111	△426,588
その他（純額）	83,135	80,055
有形固定資産合計	1,201,241	1,193,055
無形固定資産		
工業所有権	22	19
その他	34,347	32,316
無形固定資産合計	34,369	32,335
投資その他の資産		
投資有価証券	55,623	61,911
長期貸付金	58,495	59,784
繰延税金資産	52,008	53,711
その他	285,896	264,292
貸倒引当金	△57,582	△57,989
投資その他の資産合計	394,441	381,710
固定資産合計	1,630,052	1,607,102
資産合計	3,815,187	3,739,342

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年4月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	377,057	334,454
短期借入金	288,000	414,000
1年内返済予定の長期借入金	76,753	107,550
1年内償還予定の社債	240,000	40,000
リース債務	29,324	27,123
未払法人税等	106,490	16,365
賞与引当金	37,290	87,579
役員賞与引当金	1,470	367
返品調整引当金	4,948	9,906
その他	184,660	214,267
流動負債合計	1,345,993	1,251,614
固定負債		
社債	140,000	120,000
長期借入金	172,762	314,841
リース債務	33,166	27,282
退職給付引当金	107,017	105,759
役員退職慰労引当金	113,450	114,537
資産除去債務	13,772	13,847
その他	3,771	5,567
固定負債合計	583,939	701,835
負債合計	1,929,933	1,953,450
純資産の部		
株主資本		
資本金	601,000	601,000
資本剰余金	690,401	690,401
利益剰余金	777,828	677,250
自己株式	△195,576	△195,576
株主資本合計	1,873,654	1,773,076
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2,332	△1,524
為替換算調整勘定	△36,046	△22,366
その他の包括利益累計額合計	△38,378	△23,891
少数株主持分	49,979	36,707
純資産合計	1,885,254	1,785,892
負債純資産合計	3,815,187	3,739,342

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年2月1日 至平成23年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年2月1日 至平成24年4月30日)
売上高	1,280,940	1,090,962
売上原価	464,529	385,053
売上総利益	816,411	705,908
販売費及び一般管理費	730,018	729,456
営業利益又は営業損失(△)	86,393	△23,547
営業外収益		
受取利息	367	2,926
為替差益	—	1,209
保険解約返戻金	1,556	—
生命保険配当金	820	166
その他	616	1,091
営業外収益合計	3,361	5,393
営業外費用		
支払利息	2,873	2,681
持分法による投資損失	261	1,466
社債発行費償却	5,217	—
その他	2,551	1,825
営業外費用合計	10,903	5,973
経常利益又は経常損失(△)	78,851	△24,127
特別利益		
負ののれん発生益	—	10,383
特別利益合計	—	10,383
特別損失		
固定資産除却損	10	—
投資有価証券評価損	3,492	—
関係会社株式売却損	—	612
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	13,549	—
特別損失合計	17,051	612
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	61,799	△14,356
法人税、住民税及び事業税	64,697	10,770
法人税等調整額	△9,712	△11,689
法人税等合計	54,985	△919
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	6,813	△13,437
少数株主損失(△)	△211	△2,854
四半期純利益又は四半期純損失(△)	7,025	△10,582

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年2月1日 至平成23年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年2月1日 至平成24年4月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	6,813	△13,437
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,104	807
為替換算調整勘定	2,708	13,280
持分法適用会社に対する持分相当額	79	634
その他の包括利益合計	5,892	14,722
四半期包括利益	12,706	1,285
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	12,809	3,905
少数株主に係る四半期包括利益	△102	△2,619

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年2月1日至平成23年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					調整額 (千円) (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注) 2
	水関連機 器事業 (千円)	メンテナ ンス事業 (千円)	H O D (水宅配) 事業 (千円)	その他事業 (千円)	計(千円)		
売上高							
外部顧客への売上高	685,373	364,564	206,738	24,264	1,280,940	—	1,280,940
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	685,373	364,564	206,738	24,264	1,280,940	—	1,280,940
セグメント利益又はセグメ ント損失(△)	77,410	43,605	10,321	△1,250	130,087	△43,694	86,393

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△43,694千円は、主に提出会社本社の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成24年2月1日至平成24年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					調整額 (千円) (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注) 2
	水関連機 器事業 (千円)	メンテナ ンス事業 (千円)	H O D (水宅配) 事業 (千円)	その他事業 (千円)	計(千円)		
売上高							
外部顧客への売上高	554,651	334,492	177,335	24,483	1,090,962	—	1,090,962
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	554,651	334,492	177,335	24,483	1,090,962	—	1,090,962
セグメント利益又はセグメ ント損失(△)	15,336	21,622	△14,187	△5,994	16,776	△40,324	△23,547

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△40,324千円は、主に提出会社本社の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。
- (6) 重要な後発事象
該当事項はありません。